

居住地校交流について

●居住地校における交流及び共同学習

特別支援学校に通う子供たちと、それぞれの居住する地域の小・中学校等の子供たちとの交流及び共同学習

特別支援学校に通う子供たちにとっては、将来にわたって豊かに暮らしていくために、自分が住んでいる地域の小・中学校等の同年代の子供たちと活動を共にし、人間関係を広げていくことが大切です。

小・中学校等の子供たちにとっては、地域の仲間として、自然にかかわりながらともに助け合い支え合っていくことの大切さを学ぶ機会となります。

留意点

- ・子供たちの健康や障害の状態を十分考慮（交流会数や学習内容）
- ・学校間の十分な連携（交流の意義や目的、学習内容や進め方）
- ・実施後の継続的な連携（地域の行事などをおとして）

「推進しよう 障害のある子供たちと障害のない子供たちとの交流及び共同学習～ともにふれあい ともに育む～」
2018」茨城県教育委員会 より抜粋

●本校での実施状況

令和元年度対象：小学部 24 名（小学校 19 校），中学部 1 名（中学校 1 校）が居住地校交流を実施。（令和 2 年 2 月現在）

年度	学年	参加人数	学習内容	参加回数
27	小学部 2～6 年	12 名	生活，体育，図工，体育，道徳，音楽，特別活動，学活	1 回～3 回
28	小学部 2～5 年	11 名	体育，図工，体育，道徳，音楽，特別活動，学活	1 回～3 回
	中学部 1～3 年	5 名	数学，国語，理科，社会，音楽，美術，学活，給食	1 回～3 回
29	小学部 3～6 年	9 名	体育，図工，体育，道徳，音楽，特別活動，学活	1 回～3 回
	中学部 1～3 年	4 名	音楽，美術，学活，給食	1 回～3 回
30	小学部 1～5 年	16 名	遊び・ゲーム，体育，図工，道徳，音楽，家庭科（調理）	1 回～3 回
	中学部 1・3 年	2 名	音楽，美術，体育，給食，学活	1 回～3 回
令和 元	小学部 1～6 年	24 名	国語・算数・図工・体育・音楽・道徳・特別活動・学活・ 休み時間の参加・給食・校舎内の散歩・学校見学	1 回～3 回
	中学部 3 年	1 名	音楽・体育・美術・総合	3 回

成果：特別支援教育の理解啓発とともに，児童生徒の顔や名前，性格や特徴を知ってもらうことで，将来，地域での生活につながる環境作りになります。また，児童生徒にとっては他校の児童生徒とのかかわりを楽しみ，社会性を育む学習機会となっています。